会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和2年度第2回みよし市環境審議会		
開催日時	令和2年9月24日(木) 午後2時から午後3時まで		
開催場所	みよし市役所 3階 研修室1・2・3		
出席者	みよし市環境審議会 (会長) 柴本信之 (副会長) 功刀由紀子 (委員) 田中朋子、野村浩、佐藤朝生、河浪順矢、金森茂之、倉島研太、伊藤欽治 みよし市 (事務局) 野々山環境経済部長、野々山環境経済部次長、加藤環境課長、大城環境課副主幹、三浦環境課副主幹 (傍聴者) なし		
次回開催予定日	令和2年10月29日(木)		
問合せ先	環境経済部 環境課 担当 大城、三浦 電話0561-32-8018		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	
審議経過	《議事》 【環境経済部環境課長】 大変お待たせ致しました。定刻となりましたので、只今より令和2年度第2回環境審議会を開催させていただきます。開会にあたり礼の交換をしたいと思えます。皆様ご起立をお願いします。 「一同、礼」 ご着席ください。 皆様には、大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。 まず初めに、会議成立のご報告をさせていただきます。本日、板倉委員が欠席とのご連絡をいただいておりますが、欠席者1名で、委員の出席が半数を超えていることから、みよし市環境基本条例第30条第2項の規定により本会議は成立していることを報告します。 まず、こちらの資料を皆様お持ちでしょうか。不足等ありましたら、準備はございます。 それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。		

【環境経済部環境課長】

最初は「1 あいさつ」になります。柴本会長よりご挨拶をお願いいたします。

【柴本会長】

皆さまこんにちは。会長の柴本です。本日は皆様お忙しい中、本審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の議事は、「みよし市の環境に関するアンケートの結果報告について」と「みよし市環境基本計画骨子（案）について」の2点でございます。委員の皆さまには忌憚のないご意見をいただければと思います。

また、スムーズな議事進行に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。

【環境経済部環境課長】

ありがとうございました

それでは、これよりの議事の取り回しにつきましては、「みよし市環境基本条例」第28条第2項の規定により、柴本会長にお願いします。よろしくをお願いいたします。

【柴本会長】

それでは、「みよし市の環境に関するアンケートの結果報告について」事務局よりご説明をお願いします。

【エックス都市研究所嶋影】

みよし市環境基本計画アンケート調査報告書につきまして、受託業者のエックス都市研究所からご説明差し上げます。着座にて失礼いたします。

右肩に資料—1と書いてある資料になります。表紙をめくっていただきますと、目次・全体の構成があります。Ⅰ. 調査概要、Ⅱ. 市民アンケート、Ⅲ. 事業者アンケート、最後にⅣ. 参考資料として、アンケート調査票を添付しております。

右側にページ、調査概要になります。

1. 調査の目的は「本調査は、令和元年度と令和2年度にかけて策定するみよし市環境基本計画に市民の皆様の考えや意見を反映させるために実施したものであり、本報告書をみよし市環境審議会の委員や市職員などの環境基本計画の策定に携わる関係者が共有し、環境基本計画検討の基礎資料として活用するものである。」としております。

2. 調査内容について、市民へのアンケートでは、「回答者の属性」、「環境全般」、「家庭での環境への取り組み状況」についてお聞きしております。

事業者へのアンケートでは、「事業者の属性」、「環境全般」、「事業場での環境配慮の取り組み」などについてお聞きしております。

中学生へのアンケートでは、「回答者の属性（どの中学校か）」、「環境

全般]、「SDGs」についてお聞きしております。

3. 調査対象及び調査方法につきまして、市民アンケートは「みよし市在住の満16歳以上の市民2,000人」を対象にしております。

事業者アンケートは、みよし市内に事業所のある企業200社、中学生アンケートでは、みよし市立中学校2年生622人にお聞きしております。

調査方法につきましては、市民・事業者ともに郵送により依頼をいたしまして、郵送およびwebにより回答をしていただきました。中学生につきましては、中学校による直接配布・直接回収により実施いたしました。

調査票の回収状況につきまして、市民アンケート2,000件に対して、回収は1,177件。回収率は58.9%と非常に高いものとなりました。

業者アンケートにつきましては、配布数200件に対して、回収数80件。全体では40%の回収率となりました。

学生アンケートにつきましては、配布数622件に対しまして、回収数596件、回収率は95.8%となりました。続く4. 報告書の見方、5. 自由回答の整理は割愛させていただきます。

次に4ページ「Ⅱ. 市民アンケート」につきまして、ご説明いたします。最初は回答者の属性になります。こちらも個別内容はございますが、割愛をさせていただきます。

続きまして、7ページをご覧ください。「2. 環境全般」について、環境への満足度を市民の皆様にお聞きしております。「(1) 環境への満足度」は「空気の良さ」が最も高く、「全体として、周辺の環境への満足度」も次いで高いという状況になっております。

この満足度という項目に関しましては、グラフ中の緑色部分（非常に満足）と緑の斜線の部分（やや満足）と足し合わせたものを「満足」として扱っております。

8ページは、「(2) 環境の改善状況」についてです。環境の改善状況の「よくなった・ややよくなった」では、「まちの清潔さ（ごみや臭いの少なさ）」が最も高く、次いで「全体として周辺の環境への満足度」となっています。

9ページは「(3) 環境施策への満足度」についてです。こちらでは、「資源の再使用や再生利用（リサイクル）の促進」が最も高く、次いで「ごみが出ないようにする取組（発生抑制）の促進」となっています。全体的にごみのリサイクルに関する満足度が高くなっております。

10ページは（4）より進めるべき環境施策についてです。こちらの項目では、「交通システムの総合的な改善」が最も高く、次いで「快適で暮らしやすい生活環境の確保」となっております。

続きまして、12ページは、「(6) 環境に対する理解度」についてです。「(地球温暖化への) 適応策」、「ごみの3R」、「生物多様性」の3点についてお聞きしております。「(地球温暖化への) 適応策」が最も高く、次いで「生物多様性」となっております。「内容も含めて知っている」では、「ごみの3R」が最も高い状況になっております。

13ページは、「(7) 地球温暖化に関する適応行動の状況」について

です。こちらでは、「夏期の熱中症対策を行う」が最も高くなっており
ます。

続きまして、15ページからは「3. 家庭での環境への取り組み状況」
についてです。こちらでは「(9) エネルギー使用量の把握状況」や、「(1
0) エネルギー使用量の変化の見込み」などについてお聞きしており
ます。16ページではエネルギー使用量の変化についての理由を定量的にま
とめたものになります。

17ページは「(11) 省エネルギーへの配慮の状況」についてです。
こちらでは、「照明」への「使い方の工夫」が最も高く、次いで「エア
コン」への「使い方への工夫」となっております。

18ページは「(12) エネルギーづくりへの配慮の状況」についてで
す。家庭でのエネルギーづくりについて、「太陽光発電設備（ソーラー
パネル）」を「導入している・今後導入予定である・現在導入してい
ないが関心がある」とする割合が最も高く、次いで「家庭用蓄電池（太陽
光発電や深夜電力を貯める大型バッテリー）」となっております。

19ページは「(13) みよし市行政の環境施策への意見・要望」につ
いてです。皆様から沢山ご意見・ご要望をいただきましたが、類型化の
ため、「(3) 環境施策への満足度」の項目と同じ項目でまとめており
ます。こちらでは、「環境の保全」の「快適で暮らしやすい生活環境の
確保」が最も高く、次いで「みよし市の環境に関する取組全般」、「交通
システムの総合的な改善」が高くなっております。

20ページからはⅢ事業者アンケートになります。20～22ページまでは
事業者の属性になっております。

23ページは市民同様に「(1) 環境施策への満足度」をお聞きして
おります。「資源の再使用や再生利用（リサイクル）の促進」が最も高く、
次いで「ごみが出ないようにする取組（発生抑制）の促進」となっており
ます。傾向としては市民と似たようなところがあります。

24ページは、「(2) 重点的に行うべき環境施策」です。こちらでも
やはり「交通システムの総合的な改善」が最も高く、次いで「資源の再
使用や再生利用（リサイクル）の促進」となっております。

26ページからは、「3. 事業所での環境配慮の取り組み」などについて
まとめております。「(1) 業所での環境配慮の取り組みの状況」につ
いてでは、「積極的に取り組んでいる・少し取り組んでいる」とする「ご
みの分別に取り組む」が最も高く、次いで「パンフレットなどの印刷物
作成の際に必要な部数を厳密に見積もり過度な印刷を予防する」となっ
ております。

27ページは、「(2) 取組を行う理由」についてです。事業所が環境
に配慮した取組を行う理由として、「企業の社会的責任として、当然
するべきであるため」が最も高く、次いで「従業員の意識改革につな
がるため」となっております。

28ページは、「(3) 取り組みの課題」についてです。事業所が環境
に配慮した取組を進めていく上で、どの様な課題があるかをお聞き
しております。「環境に配慮した取組は手間、時間、労力がかかる」が
最も高く、次いで「環境に配慮した取組はコストがかかる」となってい
ります。

29ページでは「(4) CSR（企業の社会的責任）の一環としてふさ
わしい取り組み」についてお聞きしております。こちらでもやはり、「廃
棄物対策（ペーパーレス化の推進や、ごみの計量、バイオマスの活用など）」
といった廃棄物関連が最も高く、次いで「地球温暖化対策（環境保全事

業への協力や、CO₂の削減の実施など)」となっております。

30ページからは、事業所でのエネルギー使用状況についてまとめたものになります。30ページでは、建物でのエネルギー使用量を「業種別」にまとめたものです。この中では、製造業が飛びぬけて高くなっております。31ページ上部では、エネルギー使用量を「業態別」にまとめております。工場、事務所（オフィス）、店舗、その他、複合（工場・事務所が一緒になっている等）に分類すると、やはり工場が最も高くなっております。31ページの下部では、車両でのエネルギー使用量を「業種別」にまとめており、建設業が最も高いという状況になっております。32ページは、「業態別」の車両のエネルギー使用となっており、事務所でのガソリン使用が大きくなっております。営業等に使用されているのではないかと予想されます。

33ページは「(6) 事業所でのエネルギー使用量変化の見込み」、34ページは「(7) 事業所内設備の省エネ対策の状況」、35ページは「(8) 事業所内での再生可能エネルギーの利用の実態」についての結果をまとめております。詳細は割愛させていただきます。

36ページは「(9) 地球温暖化対策に関する適応状況」についてです。地球温暖化に対してこの5年間で事業所が新たに行っていることについて、「従業員の夏季熱中症対策」が最も高く、次いで「早めのクールビズ（夏の軽装）開始」という結果になりました。

37ページ「2）行政による支援を求めるもの」としては、「大雨やゲリラ豪雨、洪水対策」が最も高く、次いで「喝水や干ばつ対策」となっております。

38ページからはIV. 中学生アンケートになります。回答者の内訳にしましては、中学校4校の回答者数の割合になっております。

同38ページでは、「2. (1) 1) 環境の満足度」を聞いております。「親しみが持てるまち（友達とのふれあい）」が最も高く、次いで「生き物や自然の豊かさ」・「空気のよさ」・「全体として周辺の環境への満足度」となっております。

39ページは「2）改善したい環境」についてです。「河川や池などの水のきれいさ」が最も高く、次いで「まちの清潔さ（ごみや臭いの少なさ）」となっております。

40ページは（2）環境活動への意向です。「学校などにビオトープ（野生生物が生息・生育する場所）を作る活動」が最も高く、次いで「もともと日本に存在する在来種の保全のために、オオキンケイギクなどの外来種を減らす活動」となっております。

41ページは「3. SDGs」についてです。SDGsの17の目標について、3つまで重要と思う順にお答えいただき、その理由についてもまた別途、調査しております。理由につきましては、まとめた時点で皆様にご報告させていただきたいと考えております。17の目標の重要度としては、「すべての人に健康と福祉を」が最も高く、次いで「安全な水とトイレを世界中に」となっております。

42ページからは実際にお送りしたアンケートの内容となっております。

以上、みよし市環境基本計画アンケート調査報告書速報版の説明を終わります。ありがとうございました。

【柴本会長】

ありがとうございました。只今、「みよし市の環境に関するアンケートの結果報告について」ご説明がありました。ご質問、ご意見等がございましたらご発言ください。

(質問、意見等は特になし)

【柴本会長】

それでは、続きまして「みよし市環境基本計画骨子(案)について」事務局より説明をお願いします。

【環境経済部環境課副主幹】

環境課の三浦です。よろしくお願いたします。着座にて失礼いたします。私の方から環境基本計画骨子について説明させていただきます。

それでは、「議事2 みよし市環境基本計画骨子(案)」について、ご説明します。

資料-2をご覧ください。1ページ「みよし市環境基本計画」の章立てを記載してございます。環境基本計画は4章立てで作成します。

「第1章 計画の策定にあたって」では、計画策定の背景、計画の基本的事項を記載します。

つづきまして、「第2章 環境基本計画が目指すもの」では、目指すまちの姿として、将来像、実現に向けての仕組みを記載します。

「第3章 環境・まちづくり分野別の施策展開」では、施策体系図、1の脱炭素のまちづくりをはじめ、5分野の施策の展開を記載します。

「第4章 計画の推進」では、計画の周知、計画推進の体制と進捗管理について記載します。

それでは、各章について、もう少し詳しくご説明いたします。

2ページをご覧ください。「第1章 計画策定にあたって」です。

1の「計画策定の背景」としては、市民・産業・行政の3者の協働がより一層重要となっていること。第2次みよし市総合計画が2019年に策定されたことにより、総合計画の目指す将来像の実現に向けた計画の策定が必要であること。また、現行の環境基本計画の計画期間が満了を迎えることから、その間の国、県などの施策や社会情勢の変化に対応した計画が必要であることなどを記載します。

2の「計画の基本的事項」としては、「(1) 環境基本計画の目的」では、「みよし市環境基本条例」と合致する、目指すみよし市の環境について記載します。また、「(2) 環境基本計画の役割」では、本計画をみよし市の環境分野に関連する施策を立案するうえで基本となる計画と位置づけ、国、県、本市の各種計画の関係性を図で明示します。

続いて3ページをご覧ください。「(3) 計画期間・中間見直しなどの基本的事項」です。環境基本計画の計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とし、前期5年、後期5年で、中間年で見直しを実施したいと考えています。また、中間年の見直しは、今後の進め方にもありますように、本市は、ゼロカーボンシティ宣言をしていることから「(仮) みよしゼロカーボンシティ計画」の策定を見据えつつ「環境基本計画」の見直しを実施したいと考えています。

「(4) 成果指標」については、環境基本計画で設定する各施策の共

通事項として、2050年のCO2排出量実質ゼロや2030年のSDGsの目標を踏まえた数値目標を設定いたします。

続いて4ページをご覧ください。「第2章 環境基本計画が目指すもの」です。

まず、目指すまちの姿として「(1) 将来像」を掲げます。

将来像は2案ございます。まずは、環境基本計画の内容に即した理念を将来像とするA案「環境と産業が調和する、ずっと住みたいまち」、続いて総合計画の基本目標と合わせるB案「自然環境を守り 未来へつなぐまち」です。この2案については、骨子(案)の説明が終わったのち、委員の皆さまにご審議いただき将来像を決定していただきたいと思っております。

続いて「(2) 実現に向けての仕組み」ですが、目指すまちの姿、将来像の実現は、図にあるとおり、まずは、基本的な安全・安心に配慮すること、そして、脱炭素、自然共生、資源循環を相乗的に向上させ、それらを協働による環境行動で推し進めることで、目指すまちの姿の実現を図ります。

5ページをご覧ください。この図は、環境省の第5次環境基本計画で提唱された地域循環共生圏の図です。別紙のカラーの図はこの図を拡大してありますので、ご覧ください。地域循環共生圏とは、地域資源を最大活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支えあうことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。現在、ご覧いただいている図は、国の作成した図となるため、非常に複雑になっておりますが、今回、本市の環境基本計画では、みよし市版の地域循環共生圏の図を作成して、本市環境分野を取り巻く市民・事業者・行政・その他団体などの協力者との相関関係等をお示ししたいと考えています。

6ページをご覧ください。「第3章 環境・まちづくり分野別の施策展開」です。

環境・まちづくりの分野として「1脱炭素のまちづくり」「2自然共生のまちづくり」「3循環型のまちづくり」「4安全・安心のまちづくり」「5協働による環境行動のまちづくり」の5分野を掲げます。「4安全・安心のまちづくり」は、現行の環境基本計画には記載の無い分野ですが、昨今の豪雨などによる自然災害の発生や災害廃棄物の処理問題等を鑑みて、今回の基本計画で追加しております。

各分野には施策を設定し、「1脱炭素のまちづくり」では(1)地球温暖化対策への対応、(2)環境負荷の少ない交通の推進、「2自然共生のまちづくり」では、(1)豊かな自然の保全・再生を始め4施策、7ページに移りまして、「3循環型のまちづくり」では(1)資源の循環利用の推進を始め2施策、「4安全・安心のまちづくり」では(1)環境汚染の防止とリスク低減を始め3施策、8ページに移りまして「5協働による環境行動のまちづくり」では、(1)環境学習の推進を始め2施策を設けます。また、各分野、各施策共通の掲載事項としまして、①～⑥までに示す現状と課題、取組指標の達成状況、施策展開の方向性・SDGsとの関係などを掲載してまいります。ただし、「1脱炭素のまちづくり」に関しては、本市は、ゼロカーボンシティ宣言をしており、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指すことから、⑦として長期ビジョンを

掲載します。そのほか、共通事項としては、各分野・施策に対応したコラムやトピックも盛り込んでいく予定です。

続いて9ページをご覧ください。「第4章 計画の推進」です。この章では、1計画の周知として、市民・事業者・地域への周知の必要性や周知の考え方・方法を記載します。また、2計画の体制と進行管理として、PDCAサイクルの在り方、市民・事業者・地域、行政、環境審議会の連携・協力体制の在り方を示してまいります。中央の図は、環境施策を進める関係者・協力者とPDCAサイクルの関連をお示したものです。ご確認くださいいただければと思います。

最後に、計画外とはなりますが、みよし市環境基本条例等を掲載した資料編、基礎調査報告書、アンケート調査報告書を参考資料として作成してまいります。

以上、みよし市環境基本計画骨子（案）説明となります。ご審議よろしく願いいたします。

【柴本会長】

ありがとうございました。

只今、「みよし市環境基本計画骨子（案）について」ご説明がありました。

まず、骨子（案）4ページ、第2章の将来像について、決定していきたいと思えます。環境基本計画独自の将来像とするA案、総合計画の基本目標と合わせるB案がございましたが、この両案についてご質問・ご意見がございましたらご発言ください。

【田中委員】

今この場でA案、B案をすぐに決めるのは難しいかと思えます。A案、B案については、もう少し理解を深めてからでないと思われず。先ほどのアンケート結果について、企業からは40%しか回答がなかったことから、A案の「環境と産業が調和する、ずっと住みたいまち」は適さない様に思えます。B案の「自然環境を守り 未来へつなぐまち」はわかりやすいですが、A案の「ずっと住みたいまち」という部分と競合するように思えます。

【伊藤委員】

田中委員がおっしゃった様に、A案、B案には相反するものがあります。これまでの環境の観点でいうと、自然環境に重きを置き、自然環境の水準を高めることが重要と言われていましたが、自然環境を重視しすぎると若者が離れていってしまいます。そうすると、A案の「ずっと住み続けたいまち」と相反してしまいます。

総合計画の構想の中でも、北の方から中心部分にかけては、A案に近いもの、南の方はB案に近いものにしていくことが盛り込んであります。本来ならば、総合計画に合わせた環境基本計画を策定すべきですので、総合計画を踏まえて、A案、B案両方が入った良い言い回しがあればと思います。

そのため、この場で、A案、B案を決めるというのは非常に難しいかと思えます。以上です。

【柴本会長】

ありがとうございます。他の方はご意見・ご質問等いかがでしょうか。

【環境経済部環境課長】

環境課の加藤と申します。今複数の委員の方からこの場で決定するのは難しいとのご意見をいただきました。

A案、B案を今お示しいたしておりますが、委員の皆様がおっしゃった様に、A案、B案では、相反する部分もあるかと思えます。将来像につきまして、どの様な要素を盛り込めばよいか等、ご意見・ご提案をいただければと思えますが、いかがでしょうか。

【伊藤委員】

B案の方の自然環境につきまして、昔ながらの自然環境はみよし市としてはかなり壊されております。自然環境を守るというよりは、作り上げた自然環境がみよし市には多いという現状かと思えます。子供のころにあった森や、ため池はなくなっており、作り上げられた自然が主なみよし市の自然であると考えております。

そのため、「環境・産業が調和しながら、生育環境を作り上げ、未来へつなげながら、ずっと住みつづけたいまちづくり」という様に一本化していただけるとありがたいかと思えます。

【柴本会長】

ありがとうございます。将来像はこのタイミングで決定しないといけないのでしょうか。

【環境経済部環境課長】

本日は骨子ということでお示しさせていただいております。今後、計画の中間案を作成したうえで最終的な計画を作っていくというスケジュールになっております。この場で将来像を決定し、今後進めていきたいと考えておりましたが、今のご意見をいただいて、この場で明確に将来像を決定することは難しいと分かりましたので、中間のたたき台の段階で将来像を決定し、それを受けて最終的な計画の策定を進めていくというスケジュールも可能でございます。

今、伊藤委員からA案とB案を融合させてはどうかというご意見いただきましたが、ご意見を取り入れつつ再考させていただきたいと考えております。

【柴本会長】

今のご説明について、何かご意見はございますか。

【伊藤委員】

総合計画の中に環境についての項目があるかと思えますが、環境基本計画の将来像も総合計画に合わせなければならないかと思えます。総合計画と整合性がとれているならば、特に問題はないのかと思えます。

【環境経済部環境課長】

B案「自然環境を守り 未来へつなぐまち」は総合計画にある6つの目標のうちの環境分野に合わせたものです。ちなみにA案「環境と産業

が調和する、ずっと住みたいまち」につきましては、産業を農業や製造業を含めた幅広い意味での「産業」としてとらえております。

産業に重きを置くと、環境が損なわれてしまい、環境に重きを置くと産業が損なわれてしまうため、そのバランスを重視するという意味でA案をご提案させていただいた次第です。以上になります。

【柴本会長】

それでは、将来像につきまして、環境課長からご提案がありました様に、中間報告の際に改めて採択・審議をするということによろしい場合は挙手をお願いします。

(全員挙手)

【河浪委員】

A案、B案を出していただきましたが、A案、B案に至った経緯（総合計画や、アンケート結果、SDGsなど）を事務局から教えていただけると委員の皆さんも判断しやすくなると思うのですが、いかがでしょうか。

【環境経済部環境課長】

B案については、先ほど申し上げたように総合計画の環境分野の目標からもってきたものです。A案につきましては、先ほど地域循環共生圏についてご説明させていただきましたが、市内の企業や団体、市民の方々が手をつないで補完しあっていくことが環境省の方針としてもございます。それぞれの主体の調和という点を重視したものがA案の内容となっております。以上でございます。

【倉島委員】

基本的には総合計画に合わせるものなのかと思います。ですので、B案のみでよかったのではないかと思います。変える必要があるのならば、そこにはどのような背景があり、変更となるのかを知れば、議論を行いやすくなるのかと思いました。大きく変更する必要がないのであれば、総合計画のままよいと思います。A案、B案でどちらかを選ぶより、総合計画の目標から変更する必要があるのか。という点が論点かと思います。変更しなければならぬという理由がもしあるのならば、その背景も含めて教えていただきたく思います。

【環境経済部環境課長】

貴重なご意見ありがとうございます。本市の最上位計画は総合計画であり、その中の環境分野を示したものが環境基本計画になります。そのため、総合計画の目標をそのまま使うことには問題はございません。今回A案を出させていただいたのは、みよし市の他の計画策定において、総合計画の目標をそのまま使っていない事例もございましたので、一案としてご提案をさせていただきました。

【功刀副会長】

市民アンケートの結果はどのように骨子に反映されているのかが気になっている点です。また、市民アンケートの中で、最も気になっている点が、みよし市環境基本計画アンケート調査報告書9ページにありま

す。9ページの環境施策への満足度についての設問で、ごみやりサイクルに関する設問では、満足しているという意見が多く出ております。しかし、一方で全体的に「わからない」という意見も非常に多く出ております。満足度に関する調査、直観として回答できる調査で「わからない」を選択するという事は、ある意味「無関心」であるとも考えられます。ごみやりサイクルについて等日常生活に近い分野では、「わからない」の割合は低いですが、今話に出たような、自然環境の分野での「わからない」が50%程度を占めています。市民の方があまり関心を持っていないところを、将来像の標語に組み込むのはどういう意図があるのでしょうか。関心がないから、もっと関心を向けさせるようにという意味でしょうか。

また、市民アンケートの評価に関しまして、どのような評価をされていますでしょうか。

【環境経済部環境課長】

アンケートの結果に関する評価につきまして、今回は速報版であり、このような結果が出たというご報告の段階になります。今後、アンケートの内容については、分析を行ってまいります。

もう1点目、「わからない」という回答につきまして、今後、力を入れていくべき分野であると認識しております。ゴミやりサイクルの分野では、「わからない」の割合が低くなっており、これは、生活に密着したものであるからだと考えております。「わからない」という回答が多い設問に関しましては、生活の中であまり密着に接しておらず、あまり意識できていない分野なのかと考えております。そのような分野についても、強くお示ししていけたらと考えております。以上でございます。

【柴本会長】

今のご説明も含めて、他に何かご質問はございますか。

【金森委員】

A案、B案のお話が出ましたが、「自然環境を守る」、「環境と産業の調和」というのはイメージしやすいですが、循環型社会というのは、難易度が高いのではないかと考えています。他力本願的なイメージもありますので、「循環」という言葉を入れるべきなのかは難しいところかと思えます。企業としても、自分たちだけではできない部分もありますので、この点を市民の方には理解を深めていただく必要があるかと思えます。地域循環共生圏では、地域内での循環が求められていますので、地域内の施設や設備が必要になり、それに合わせた行動が必要になってまいりますので、「循環」という言葉を入れ込んで是非周知していただければと思います。

【環境経済部環境課長】

ありがとうございます。今、金森委員からも新たなご意見をいただきましたので、この意見も踏まえた検討を次回に向けて行ってまいります。

【功刀副会長】

骨子（案）4ページの将来像の図は計画にも使うのでしょうか。

【環境経済部環境課長】

今回は骨子ということで、今日の段階ではイメージとして、使わせていただいております。計画策定の段階では、もっと分かりやすくお示ししていく予定です。このまま使うわけではございません。

【功刀副会長】

この図を使用するのであれば、「循環」という言葉を入れておいた方が良いのかと思いました。A案、B案と、この図では少し齟齬があるように思います。

【柴本会長】

では、将来像につきましては、現段階で決定しなくても問題はないようですので、中間報告の際に決定いたします。

それ以外に、このみよし市環境基本計画骨子（案）につきまして、ご意見ご質問はありますでしょうか。

【柴本会長】

ご意見等も出尽くしたようですので、本日の議事についての審議は終了し、最後の取り回しを事務局にお返しします。よろしく願いいたします。

【環境経済部環境課長】

柴本会長、ありがとうございました。

委員の皆さま、本日は長時間に渡る審議のスムーズな進行、また、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。本日のご意見等を踏まえまして、「みよし市環境基本計画」策定を進めさせていただきます。

最後に、次第のその他でございます。前回、諮問という形で行わせていただきました災害廃棄物処理計画の策定およびごみ処理基本計画の中間見直しについての審議も併せて今後は予定しております。策定業務にあたりまして、委託業者が決定いたしましたので、次回の審議会から出席をさせていただきますので、ご了承をお願いいたします。次回審議会日程についてですが、次回の審議会の開催は10月下旬を予定しております。詳細日時が決まりましたら、皆様にお知らせいたしますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、令和2年度第2回環境審議会を終了いたします。皆さま、本日はありがとうございました。最後に礼の交換をいたします。皆様ご起立をお願いいたします。

「一同、礼。」